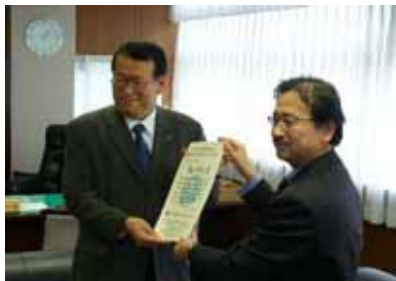




昨年に続いて飯田は9位 環境首都コンテスト



日本のフライクブルクを目指そう。環境首都コンテストは、NGOが自治体の環境政策を評価する取り組みです。ドイツの取り組みを参考に、2001年から環境市民をはじめとした全国11のNGOが共同で取り組んでいます。

コンテストでは、狭い意味での環境政策ではなく、情報公開、パートナーシップ、交通政策、景観形成、政策の総合化や予算への反映など、自治体政策全体が、どのように環境視点をもって進められているか、総合的に評価します。

2005年飯田市は9位。昨年と同じ順位です。全体で15項目の膨大なアンケートに答え、それを点数に換算します。1,020点満点で飯田市は436点。昨年よりも25点上昇しました。今回の特徴は、ベスト10の自治体が平均で46点上昇したこと。3位の安城市では、環境担当の助役を設置。2位の新城市では職員対象に徹底的な環境学習を進めています。多くの自治体がこのコンテストを励みとしてよりよい環境政策づくりに取り組んでいます

総合順位(上位10位)

順位	自治体名	人口
第1位	水俣市(熊本県)	29,824
第2位	新城市(愛知県)	52,888
第3位	安城市(愛知県)	171,811
第4位	多治見市(岐阜県)	106,208
第5位	熊本市(熊本県)	672,114
第6位	尼崎市(兵庫県)	462,081
第7位	板橋区(東京都)	513,575
第8位	日田市(大分県)	75,767
第9位	飯田市(長野県)	108,160
第10位	大和市(神奈川県)	221,603

南信州いむす21は 環境政策のモデル

飯田市では南信州いむす21の普及に取り組む活動が評価され、EMSの活動が高得点。交通政策や環境産業推進部門でも前年を大きく上回りました。

環境首都の称号は、参加自治体の1になることではありません。総合点が満点の70%を超えることなど、いくつかの条件があります。日本の環境首都はまだ誕生していません。

「再来年あたり環境首都が誕生するかもしれません」。環境市民代表の枚本育生さんの発言です。

「環境問題はひとつの地域だけで解決できる問題ではありません。地域を越えた取り組みが必要です。南信州いむす21はそのモデル。コンテストという取り組みを通して自治体同士が切磋琢磨し、持続的な地域社会づくりを一層進めていきたい」。牧野光朗飯田市長のコメントです。

すべての事務事業に環境視点をもってすすめること。私たちの子や孫の世代にこの地域をバトンタッチするために欠かすことのできない視点です。

公共機関の交通が一目でわかる時刻表ができました

新宿、名古屋、長野、松本、大阪、横浜、セントレアなど飯田と往復する高速バス。JR飯田線。飯田市と周辺を走る市民バスや路線バス。それらのすべてがまとまった「2006 南信州飯田エリア時刻表ダイジェスト」が発行されました。



発行者は、飯田エフエム放送。新幹線やJR中央線の乗り継ぎ、名古屋発の夜行バス、南アルプス登山バスの時刻表、飯田の食事どころや温泉、特産品なども紹介されています。

5月はエコドライブ推進月間。家族旅行などでもできるだけ公共交通機関を使う。そんなときにたよりになる冊子です。南信州への旅行者にとってもとても便利です。

詳しくはi-stationのHPまで
<http://www.iida.fm/pc/index.html>

環境のまちづくりは パートナーシップから

予算編成前にそれぞれの事業を「総合計画」「財政計画」「行財政改革」「環境計画」「市長指示事項」など多方面からチェック



する。企画課、財政課、人事課、環境課が一堂に会して事務事業をヒアリング。多治見市政策形成ヒアリングの手法です。

老朽化した用水路の改修事業。人事課主催の若手職員の自主研修から生まれた「メダカの学校構想」。市街地に親水空間を整備しようという環境基本計画。政策形成ヒアリングによって、用水路の改修が総合的な整備事業に発展。

4月17日(月)環境市民代表、枚本育生さんの講演会「環境のまちづくりとパートナーシップ」が行われました。冒頭は2005年環境首都コンテスト4位、多治見市の事例です。

2年間で通算141回の会議。市民参加が進められた岡山県津山市の環境基本計画づくり。計画づくりの中間に公開発表会を開催。計画策定後もメンバー有志が「エコネット津山」を結成。「リユースプラザくるくる」。「公共交通くもの楽大作戦」。市民と行政のパートナーシップで、ユニークな取り組みを進めています。

市民の参加は、参加する市民自身が環境問題をより深く考える機会です。そして多くの市民が参加することで、たくさんのアイデアが生まれます。参加した市民との関わりを通して自治体や自治体職員も変わっていきます。多治見市の事例のように、自治体の仕事の進め方も変わっていきます。「環境首都への道」も市民、事業者、自治体のパートナーシップのあり方次第です。

りんごやなしの花つけも終わり、田んぼにも水がはられてきました。環境課の正面にそびえ立つ大きなケヤキにも緑の葉が色づいてきました。庭の草取りをしていたらアマガエルが何匹も草の中から現れました。季節の移り変わりを強く感じるこのごろです。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tanagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



ランキングで 17 位に 飯田市役所の ISO14001

「...ユニークなのは、企業を対象にした調査にもかかわらず長野県の飯田市役所が 17 位に入ったことだ。飯田市役所は、ISO14001 を自己宣言している自治体として有名である。『内部監査に外部組織の監査員を入れることで透明性の確保を図っている。外部組織の視点をシステムの改善に役立てている』(北海道、地方自治体 EMS 担当者)。自己宣言の難しさは評価の透明性といわれる中で、この点についての評価が高かった...」。



冒頭は日経エコロジー6月号の特集、「ISO が機能し成果を上げている企業」ランキングの講評です。ISO14001 に取り組む「全国 3,000 事業所実態調査」の設問で、現場の担当者に自由記述で 3 位まで記入した結果です。

1 位のリコー(79 票)、2 位のトヨタ(54 票)は図抜けています。飯田市と同じ 17 位、3 票を集めた事業所は NTT ソフトウェア、京セラ、サントリー、滋賀銀行、セイコーエプソン。日本適合性協会の HP、2005 年 5 月 10 日のデータで国内の適合組織は 18,339。自治体としては唯一のランク入りでした。

評価のポイントとなった相互内部監査の中心は、地域ぐるみ環境 ISO 研究会メンバーです。飯田市役所が、研究会の一事業所として活動していることが、今回の評価に結びついたともいえます。

南信州 いむす 21 のグレードアップとともに、研究会が認める ISO14001 自己宣言「南信州宣言」という仕組みが生まれました。飯田市役所の取り組みがモデルとなって、新たな自己宣言の事業所が誕生すれば、今回の評価が南信州に広がっていきます。

一方飯田市役所にとっては、7 月に行われる内部監査で、改めて取り組みの中味が問われます。

今回の評価を励みとし、研究会の活動と、市役所 EMS の取り組みに、一層磨きがかかることが期待されます。

ツアーオブジャパンに 今年もおいでなんしょ

全長 155.3km、標高差約 150m を平均時速 40km で走り抜ける。ツアーオブジャパン南信州ステージが今年も行われます。5 月 17 日(水)午前 8 時 45 分 JR 飯田駅をスタート。水神橋をわたり、起伏の多い 7.2km の下久堅コースを 12 周。ゴールの松尾運動場前の到着予定は 12 時半から 1 時頃。



大阪から東京まで 713.08km を 8 日間かけて走り抜ける自転車レース。国内外 16 チーム 96 人の選手が参加。チームごとのかけひきも醍醐味の個人戦です。今年で 10 回目を数えるこのレース、南信州ステージは 2 年目です。主催者は自転車月間推進協議会など。研究会事業所の旭松食品株式会社も公式スポンサー。いむだ FM 放送で、レースの様子が生中継されます。新緑の中、自転車で走るのにはもっとも快適な季節 5 月。国民の自転車利用促進と、健康増進を図るため「自転車月間」とされています。

5 月は「エコドライブ推進月間」。見所いっぱいこのレース、ぜひ観戦しませんか。詳しくは以下の HP まで。 <http://www.toj.co.jp/>

環境市民からも参加 キノコのコマ打ち体験

5 月 7 日(日)上久堅蛇沼でキノコのコマ打ち体験に参加しました。



主催は上久堅の地域づくりグループ八の会。20 人ほどの参加者で、約 2,000 のなめこ菌のついたコマを杉の原木に打ち込みました。

首都圏や京都から 10 人の若者も参加。環境市民のスタッフ 3 人も含まれています。彼ら前日から参加したメンバーは、山菜採りも体験。

前夜の食事は山菜天ぷらと焼き肉。新鮮なしか肉も頂きました。コマ打ちの後は昨年採れたキノコのたつぷり入ったキノコ汁で舌鼓。連休の締めくくりで自然を満喫しました。

社員の元気は会社の元気 研究会が紹介されました

「事業所の社員や職員も家に帰ればみんな市民。ISO の考え方が家庭に伝われば、その取り組みは万を超える草の根運動になる。環境意識の高い街としてアピールすれば、地域の活性化にもつながる...地域全体の環境経営レベルアップの推進的な役割を担い、企業市民活動を通じて行政と市民をつなぐ大きな力として機能している」。



長野県経営者協会、同社会福祉協議会、同 NPO センター三者が共同で発行した企業の社会貢献活動事例集「社員の元気は会社の元気」。地域ぐるみ環境 ISO 研究会の活動が紹介されました。

会社勤めに終わらずに、社会参加活動を楽しむことで自己実現を。そしてそのことが地域の力を高めていく。こんな主旨から発行。

「手編みセーターの寄付(オムロン飯田)」「公園・道路整備清掃(木下建設)」「募金・寄付(神稲建設)」「障害者支援(シチズン平和時計)」「地域祭参加(多摩川精機)」など、研究会参加事業所の活動も紹介されています。

ブラウスとスカートに リメイク講座のお知らせ

せっかく作ったけれども使われていない。でももったいなくて捨てられない。大切な着物をブラウスとスカートに生まれかわらせるリメイク講座が行われます。主催はグリーンクラブいむだ。

6 月 7 日、14 日、21 日の 3 回。午後 1 時 30 分から 4 時まで。参加費一人 6,000 円。場所は市民活動共同オフィス(東和町)。講師は風越和裁教室の牧野由美子さんです。

申し込み及び照会はグリーンクラブいむだまで。Tel/fax56-8311。

エコドライブ推進月間も半月過ぎました。取り組みは進んでいますか。郡外出張や旅は公共交通機関を利用する。私の行うエコドライブです。地球と健康のためあと半月がんばりましょう。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tanagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



91 事業所 133 人が参加 新 “南信州 いむす 21” 説明会

5月16日(火)から20日(土)にかけて南信州 いむす 21 グレードアップ版の説明会が行われました。くましるホール(神稲建設)、飯田市役所、オムロン飯田コミュニティ施設、3会場で行われた説明会。91 事業所 133 人に参加いただきました。



飯田市役所会場

EMS の基礎知識

はじめて環境マネジメントシステムに取り組んでみようという事業所からも参加いただきました。飯田市役所、オムロン飯田会場では、EMS(環境マネジメントシステム)の基礎知識についても紹介。研究会メンバー小野寺聡一さん(飯田市役所)が報告者です。

「かつては、無限で劣化しないといわれていた地球。今は無限で劣化することがわかっています。環境破壊を未然に防ぐ、予防のための活動が重要な時代です。環境保全や汚染の予防のための P(Plan : 計画)、D(Do : 実行)、C(Check : 点検)、A(Act : 見直し)。継続的な改善のしくみが環境マネジメントシステムです」。



くましるホール

4 段階のステップアップ

続いてグレードアッププロジェクトメンバーが新 “南信州 いむす 21” の手引きを説明。

新しいシステムは初級、中級、上級、ISO14001 南信州宣言の4つのステップ。南信州 いむす 21 は、ISO14001 の規格を参考につくられています。ステップアップをしていくことで、ISO14001 に挑戦することが可能です。

南信州 いむす 21 の旧版は、新システムの初級に相当します。今回はステップアップした中級のしくみ

を紹介。説明役は三ツ石真理さん(神稲建設)、神田知誉子さん(原鉄)、原瞳さん(オムロン飯田)です。それぞれ自社の取り組みを事例としながらの説明です。

「社長は環境方針を決め、それを文書にします」。ISO14001 の規格では、ISO14001 に取り組む組織にたいして「~すること」という要求事項を定めています。そしてすべての要求事項を満たすことで ISO14001 に適合していることが認められます。

南信州 いむす 21 では ISO14001 の要求事項をできるだけわかりやすいことばに言い換え、115 に分類しました。初級は21、中級は34、上級は78の要求事項を満たす必要があります。

「会社の事業活動に関連する法令等を調べます。環境に関連する法律・条例等を特定します」という要求事項の項目では、「一般的に『環境法』と呼ばれるものの他、たとえば『安全衛生法』『高圧ガス保安法』『消防法』なども、会社の環境活動に関連していれば、取り上げる必要があります」。というように「南信州 いむす 21 の手引き」では、要求事項の項目ごとに考えるヒントも示してあります。

窓口は南信州広域連合です

これまで、南信州 いむす 21 の登録証は南信州広域連合が交付していただきました。新しいシステムでは、取り組み宣言の受付、審査申し込みなどの窓口がすべて南信州広域連合になります。

地域ぐるみ環境 ISO 研究会は、支援と審査を行う機関となります。

審査が有料となります

旧システムでは登録や審査などの費用は無料でした。費用面でのハードルをなくすことで、取り組みやすくしようという考えによるものです。

新システムでは審査申し込みを行う際に、初級、中級が3,000円。上級5,000円、ISO14001 南信州宣言10,000円の審査料が必要となります。

事業所にとっては取り組み備えを担保する。研究会にとっては審査の構えを担保する。審査料の目的です。なお審査料は、研究会メンバーのスキルアップの費用に使わせていただきます。

取り組み宣言は改めて

取り組み宣言を行いながら、審査

申し込みに至っていない事業所は、改めて取り組み宣言を行うことが必要です。初級、中級、上級、ステップを定めたい上取り宣言を行うてください。

なお今回の改正で、取り組み宣言から審査申し込みまでの期間の上限が設けられました。初級、中級は6ヶ月以内。上級、ISO14001 南信州宣言は1年以内です。

更新審査の申し込みは 速やかに

5月12日付けで31の事業所が登録証の有効期限となりました。これらの事業所の皆さんは、事業所ごとに取り組みステップを決め、更新審査の申し込みをしていただきます。

研究会では6月中をめどに各事業所の更新審査を行い、審査の結果が良好であれば、7月には新たな登録証を交付する予定です。

新たな取り組み宣言を

説明会には、新たに12事業所からの参加がありました。新しいシステムへの移行をきっかけに、新たな取り組み宣言を行う事業所の誕生も期待されます。

挑戦！ ISO14001 南信州宣言

地域ぐるみ環境 ISO 研究会が確認し、南信州広域連合が判定する南信州宣言。ISO14001 自己宣言の画期的なしくみです。

最初の挑戦者として名乗りを上げる事業所をお待ちしています。

新南信州 いむす 21 の詳細については研究会 HP をご参照ください。
<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyosho/iso/index.html>



オムロン飯田コミュニティ施設

新システム、これからが本番です。説明会の会場を快くお貸しいただいた各社に感謝。プロジェクトの皆さん、お疲れさまでした。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



研究会が紹介されました エコで元気なまちづくり Earth Guardian 5月号

「地域ぐるみで ISO14001 をめざす...南信州の飯田は、東西を結ぶ街道と南北を貫くそれが交差し、古くからの交通の要衝として栄えてきた。今、その飯田市がさらに注目される理由に、積極的な住民参加による環境への取り組みが着実に実を結んでいることがある。...」



日報アイビー社の刊行する Earth Guardian 5月号「特集エコで元気なまちづくり」で、地域ぐるみ環境ISO研究会の活動が紹介されました。日報アイビー社は、「月刊廃棄物」など、環境問題を専門に扱う出版社です。

「...地域ぐるみ環境 ISO 研究会は南信州 いむす 21 というEMSをつくった。...ひとことでいえば、ISO14001 のしくみを簡易なシステムとして展開する環境改善活動だ。事業所の実情に合わせて無理せずに計画を立てて環境改善活動をしてもらおうという。...」と南信州 いむす 21 のしくみを紹介。

「ペットボトルの洗浄には洗剤は使わない。繰り返し粉砕・洗浄したのち、乾燥させてフレークにする。これを熱で溶かし、押し出してペレットが完成する...」(アースグリーンマネジメント)「新聞古紙は断熱材に生まれ変わる。古紙をセルロースファイバーにし、建物の壁や天井などに使うのだ。...廃棄物利用としてはすぐれた使い方...」(エコトピア飯田)研究会に参加する事業所も紹介されました。紙面では研究会の取り組みを、地域経済活性化の大きな柱として評価しています。

エコエネルギー導入に取り組む愛知県田原市。住民主体の環境学習を進める兵庫県西宮市。研究会の取り組みは国内3つの先進事例として取り上げられました。環境首都として知られるドイツのフライブルク市も海外事例として登場。

持続可能な地域社会づくりに向けた研究会の取り組み。注目されるにふさわしい活動の広がりが期待されます。

地球の冷やかた あなたは ポトリ？

森が燃えてしまった
森の生き物たちは
われ先にと逃げていきました
でもクリキンディという名のハチドリだけは
いったりきたり



口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て「そんなことをして一体何になるんだ」といって笑います
クリキンディはこう答えました
「私は、私にできることをしているだけ」

これは南アメリカの先住民に伝わる物語です。燃えている森を地球にとらえた「ハチドリ計画」というグループがあります。この物語は、「私にできること～地球の冷やし方」という冊子の冒頭で紹介されています。

CO2 100g に1ポコという単位を与え、1ポコを減らすための行動をハチドリにたとえて1ポトリと呼びます。「缶ビールをやめてリターンブルピンにすると1.3ポトリ」「3kmの移動にタクシーを使わずに電車にすると12ポトリ」「アメリカ産のいちご5個の代わりに国内産を買うと6.2ポトリ」

リオの地球サミット、弱冠12歳でスピーチを行い、世界中に感動を与えた日系カナダ人の環境活動家、セヴァン・カリス・スズキさん。ケニアの環境副大臣で熱帯林の植林運動「グリーンベルト・ムーブメント」でノーベル平和賞を受賞した、ワンガリ・マータイさん。ミュージシャンの坂本龍一さんなどもメッセージを寄せています。

「あまりにも大きな問題にとりまかされている私たちは、ともすれば無力感に押しつぶされそうになります。でもそんな時は、このハチドリの話の思い出してくださいね。ハチドリの話をしてくれたキチュア人のことばです。

ハチドリ計画のHPは以下を参照ください。<http://www.hachidori.jp/>

中味の監査となるために 市役所 EMS 内部監査員の 研修会が行われました

「自己宣言を行う自治体は増えていきます。第三者審査を使わずに自らが規格の適切性や有効性を評価するための基礎は内部監査です。」



5月22日(月)23日(火)、飯田市役所 ISO 14001 内部監査員教育訓練が行われました。今年は主任環境審査員の近藤明人さんを迎えた学習会となりました。

「決められたとおりに取り組まれているか」という尺度から、「システムを良くしていくしくみとなっているか」。マネジメントシステム改善の可能性を発見していく監査へ。

「パフォーマンスを向上させる仕組みになっているか」「本来業務に即した環境側面の確認をする」「他のMSとの重複している箇所を特定し、システムの融合の可能性などを検討する」。以上の姿勢を監査の基本とし、被監査者が自らシステムを改善のためのポイントを気づいていくような監査へ。

本来の業務を、市役所各課が環境視点を持って取り組んでいるかどうか。中味の監査とするためのヒントをお聞きました。

研修後半は環境側面、法的その他要求事項、目的・目標及び実行計画を中心としたチェックリストづくり。

講師の近藤さんは2003年1月23日、飯田市役所 ISO14001 の自己宣言以来ずっと飯田市の相互内部監査に参加。飯田の取り組みを熟知した、的確な指摘をいただきました。

飯田市役所の相互内部監査は7月に行われます。中味の監査が一層深められるために、今年も多くの相互内部監査員の参加を、お待ちしております。

被監査課、そして内部監査員の備えが試されています。相互内部監査の詳細は、6月に飯田市環境情報で公開します。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



6月5日は環境の日 南信州いむす21

信濃毎日新聞で紹介

「県内の中小企業でも『ゴミを減量する』『CO2の排出量を減らす』など環境保全活動を具体的な数値として管理・実践する取り組みが広がっています。環境保全活動を評価する基準には、国際規格“環境ISO”がよく知られていますが、近年、その費用をぐっと抑え、取り組みをより簡便にした独自の指針も登場しています。飯田下伊那地域の企業が参加する『地域ぐるみ環境ISO研究会』は、こうした“環境ISO”の地域版ともいえる『南信州いむす21』を創設しました。01年の運用開始からこれまで、54企業・団体が登録されていて、さらなる発展に期待が集まっています。



5月31日付け信濃毎日新聞で南信州いむす21が紹介されました。環境月間である6月を前にした広告ページです。信州省エネパトロール隊、信州省エネラベルキャンペーンなどとともに掲載されています。1972年6月5日、ストックホルムで「世界人間環境会議」が行われました。平成5年に制定された環境基本法で、この日が「環境の日」と定められました。また環境月間は、環境庁の呼びかけで始まりました。クールビズも6月からスタート。環境問題を考える節目の月です。環境にかかわる催しも国内各地で行われています。6月21日「夏至の日」を中心に、「電気を消して、スローな夜を」を合い言葉に「百万人のキャンドルナイト」が行われます。このキャンペーンの一環で、6月18日(日)午後10時から12時、全国のライトアップ施設や各家庭の電気を一斉に消灯する「ブラックイルミネーション2006」が行われます。他にも「サマーエコスタイルキャンペーン」「ヒナを捨わないでキャンペーン」など盛り沢山の企画が予定されています。職場や家族で改めて環境について考えてみませんか。

「燃やすゴミとして分別されている衣類からも材質によっては有害物質が発生するのでは」。きっかけは2003年1月、上郷地区地域づくりフォーラム、環境問題の分科会での意見交換から。2003年7月から始まった上郷地区環境衛生組合、古着リサイクルの取り組みです。

古着リサイクルの取り組み 県生涯学習講座で報告

6月2日(金)塩尻市にある長野県生涯学習推進センターで、生涯学習推進講座「地域づくり」が開催されました。古着リサイクルの取り組みも事例発表で参加。発表者は副組合長の森下たまきさんです。



「古着を第3世界に送る取り組みがあります」。上郷地域づくりフォーラム助言者からのアドバイス。早速3月には先進地を視察。7月に第1回が行われました。以来4回行われた取り組みには、受け入れ車両3,841台、66.89tの古着が集まりました。現在9割が東南アジアへ、残りがウェストとして加工されています。

古着焼却による有害物質の発生抑制。古着を再利用する活動を通して家庭にリサイクルの意識を拡大する。取り組みを通して循環型社会の実現に向けた問題提起を行う。そんな目的で取り組みは続けられています。森下さんら環境衛生組合の女性役員有志は、1997年飯田市の環境アドバイザーに登録。自分たちの経験を地域社会に還元する取り組みをはじめます。1999年にはグリーンクラブいいたを設立。消費者の立場から環境改善に取り組む市民活動につながります。

グリーンクラブいいたでは、使われなくなった和服のリメイク講座も実施しています。地域団体の取り組みが地域を越えて広がり、森下さんたちの活動も団体役員から自分自身のライフワークとして広がる。古着の再使用という生活者の視点、人と人をつなげる活動の広げ方、女性ならではの取り組みともいえます。地域活動のモデルとして活動の一層の広がりが期待されます。

人任せでない地域づくり 実践者の発表から

「町内総員による短冊書き。手間暇を惜しまないで声を掛け合って進めた七夕飾りづくり。町内の連帯が強まりました。中学生たちにブースをあずけたら、とても不思議なファッションショーを企画。大人たちも大いに感心。子どもたちに任せてみるというのも大事です」。(松本市徒士町町内公民館の女性館長、三村伊津子さん)



「自分たちの住んでいる地域をこうしたい、そういう夢や希望をまとめました。子ども、年寄り、自然環境、心豊かな地域づくり、4つのテーマで進めたお仕着せでない分科会方式。自分の住むまちの未来を考える、そのために皆で話し合う、話し合いを通して行動が起きる。そんな好循環が生まれています」。(上田市豊殿地区の未来を考える会会長、古平敏幸さん)



「実際にまちで暮らしてみることで、自分たちも、地域の人もどんな支援が必要か見えてきます。障害を持つ人が地域で生きる。その取り組みを通して、障害以外に困難を抱える市民にとってもしものぎやすい、生きやすい地域に変わります」。(施設生活からグループホームへと障害者の暮らしの場所を広げている西駒郷生活支援センター長、山田優さん)



6月2日の生涯学習推進講座。森下さんをはじめとして多方面で地域づくりの取り組みを進めている4人による発表が行われました。

コーディネーターは長野大学教授の安井幸次さんです。

発表者に共通するのは、地域の問題を人任せでなく自分自身の問題として取り組んでいくこと。取り組みを通して地域づくりの秘訣が見えてきます。

生涯学習推進講座は今回を出発に全6回。毎回、魅力的な各地の実践に出会うことができます。詳細は長野県生涯学習推進センターHPをご参照ください。

<http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/kouza.html>

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株式会社) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



事業者ごとの削減計画を 県地球温暖化対策条例が 制定されました

15,505tから17,866tへ。2003年長野県の地球温暖化ガスの排出量は、1990年比115.3%増加しました。これは日本全体の増加率112.2%を上回っています。

京都議定書で約束した地球温暖化ガスの削減目標を達成するために、今年3月「長野県地球温暖化対策条例」が制定されました。6月2日(金)飯田合同庁舎で条例の説明会が行われました。

条例には地球温暖化対策を進めるために、県民、事業者、県、市町村、などの責務が示されています。



1,500kl以上の使用者は 排出抑制計画の策定を

エネルギーを重油に換算して年間1,500kl以上使用する事業者は、条例施行の2007年1月以降、温室効果ガスの排出抑制計画を作成しなければなりません。初年度は事業所単位で計算。翌年度からは1箇所でも1,500kl以上の事業所を持つ事業者は、すべての事業所を合算することになります。(重油換算などは、予定の数値)

24時間営業の事業者、たくさんの自動車を所有する事業者、大規模の施設を建設する建て主、特定エネルギーの供給事業者なども排出抑制計画を策定しなければなりません。

駐車場でのアイドリングストップ、電気製品へ省エネラベルの掲示、24時間営業や自動販売機設置者は営業時間短縮の協定を結ぶことなども盛り込まれています。

公共交通機関利用、ノーマイカー通勤、エコドライブ、エコカーへの乗り換え、エネルギー消費の少ない電気製品の使用、環境教育、再生エネルギー使用など温暖化防止に向けた一人ひとりの行動にたいしても言及。この機会に、温暖化防止に向けて、一層具体的な取り組みが期待されます。

詳しくは以下HPへ
<http://www.pref.nagano.jp/seikan/chikyuo/ndan/joure/>

相互内部監査7年目 参加者を公募します

飯田市役所ISO14001の相互内部監査も、7年目を迎えました。今年も7月10日(月)から47の課等で内部監査を行います。

2003年1月23日、飯田市役所は、日本の自治体としてはじめてISO14001の自己宣言を行いました。その後自己宣言方式を選択する自治体がいくつも誕生しています。(財)日本消防設備安全センターの調査では、2005年までに11の自治体が自己宣言に移行しています。

この調査では、自己宣言を行った自治体の多くが、専門機関による審査に代わる、客観的な評価方法の確立が大事な条件であると回答しています。その方法は、職員以外が参加する内部監査という飯田市方式と、住民や事業者、有識者による外部監査という上田市に代表される方式に大別されます。

いずれにしても、自己宣言を行う組織にとって、監査の機会に外部の目が入ることが大変重要であることが共通しています。

ISO14001南信州宣言の モデルとして

一方南信州 いむす21のグレードアップにあわせて、ISO14001南信州宣言に取り組むこととなりました。ISO14001の規格に基づき、自己宣言を研究会と南信州広域連合が、組織外部のグループとして確認する試みです。南信州宣言という自己宣言も、組織外部の目による客観的な評価がポイントとなります。

飯田市役所ISO14001の相互内部監査は、自己宣言の最も大事な柱です。その意味で、南信州宣言にも通じる実験的試みでもあります。多くの皆さんが相互内部監査に参加いただきますこと、お待ちしております。

相互内部監査は今年も「監査員」と「オブザーバ」に参加の立場を分けて受け付けます。監査員は以下のいずれかの条件を満たす方とします。

環境マネジメントシステム審査員資格(審査員補以上)をお持ちの方、研修機関の内部環境監査員研修を終了した方、お勤め先等でISO14001内部監査の実績が2年以上ある方。

詳しくは以下HPをご参照ください。
<http://www.city.iida.nagano.jp/kanky/iso/manage/index.html>

自然エネルギーで 地域も人の心も温かに 雑誌世界で紹介されました

「次代を担う子どもたちのことを考えると、温暖化を何とかしたいと思っていましたから、出資にためらいはありませんでした。ささやかなことですが、それに(おひさまは)ロマンがあって気持ちいいじゃないですか。」

岩波書店の「世界」6月号で、飯田市の自然エネルギーの取り組みが紹介されました。冒頭は太陽光共同発電やエスコ事業をすすめるための市民共同出資に飯田市内で最初に出資した、久田俊和さんのことばです。

連載ルポ「人が豊かになる地域づくり」第4回「自然エネルギー推進で地域も人の心もあたたかに」で紹介。岩手県葛巻町とともに紹介されました。

市民出資2億1500万円の出資総額に474人が参加。「従来のお金の預け方では、何にどう使われたのか見えません。そこに疑問を感じる人が増えていきます。リターンがなくてもいい。寄付でもいいという人もけっこういました」。おひさま進歩代表、原亮弘さんの分析です。「地域に優しいエネルギーに投資できるなら少しずつでも続けたい」。そんな出資者からの声も紹介されています。

「いらぬ電気は使いません。明るい電気は太陽からの贈り物。おひさまパワーで明るい毎日。保育園の子どもたちへの環境教育の合い言葉「さんぼちゃんの誓い」です。ある家庭では電気がもったいないと園児が言ってお風呂の電気を消し、ロウソクをつけて入ったそうです。

市場経済にゆだねるだけでなく、志や教育を大事にしながらこれからの地域社会をつくっていく。地球と地域の持続可能な発展の二つをとともに実現するための貴重なモデルとして評価されています。

「地域を大切に、自然とともにある産業を育てていく人々の思いが伝わる政治と行政であってほしい」。結びの言葉です。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
 沢柳俊之(多摩川精機株式会社) 研究会事務局

p05300@tamagawa-seiki.co.jp

木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp





市役所ISO14001 相互内部監査、参加者募集中

今年も7月11日から飯田市役所ISO14001相互内部監査が始まります。昨年4月1日のマニュアル改定で、いわゆる「紙ゴミ電気」を定着事項として目的目標からはずしました。ISO14001、2004年の規格改定を受けて、より本来業務に環境視点を持って取り組むことをねらいとしています。

今年のマニュアル改定で、「環境影響調査」「法的、その他要求事項の調査」「目的目標及び実施計画の策定」を各課課長の裁量としました。課ごとに独自の取り組みを進めることが目的です。

内部監査に先立ち7月7日(金)夕方には、牧野光朗飯田市長へのトップインタビューも行います。内部監査にたいするクライアントである市長のインタビューの内容も、内部監査の重点監査事項につながります。

飯田市役所ISO14001の取り組みに「客観性」や「透明性」を担保する最も重要な機会です。また、ISO14001南信州宣言に向けた実験的な取り組みでもあります。トップインタビューと内部監査に多くの皆さんの参加をお待ちしています。

相互内部監査の申し込み方

監査日程はHPで公開しています。参加希望者は、以下をメールでお知らせください。

お名前、勤務先など、電話番号、資格・経験、監査をご希望の課(複数可)、「監査」「見学」の別

メールの送付先は以下の通りです。ic1570@city.iida.nagano.jp(担当:小野寺聡一)

「監査」に参加いただくためには環境マネジメント審査員の有資格者内部監査員養成コースの修了者内部監査員として2年以上の経験者、いずれかの条件を満たしていることとさせていただきます。この条件に該当していなくても、「見学」参加を受け付けています。

詳しくは以下HPをご参照ください。

<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyosho/manage/index.html>

森と紙のリサイクル 王子製紙春日井工場 工場見学会を行いました

オーストラリアの広大な荒廃地にユーカリを植樹。現在の植樹面積は15万ha、2010年には30万haへ。これは東京都面積の1.5倍に相当します。紙の原料である森のリサイクル。王子製紙の取り組みです。



6月14日(水)研究会による王子製紙春日井工場の見学会が行われました。2004年第13回地球環境大賞では、地域ぐるみ環境ISO研究会は環境市民グループ賞を受賞。王子製紙はこの年経済産業大臣賞を受賞しました。

春日井工場は周囲4km、87万平方キロの広大な敷地に立地。出版・印刷用紙、事務用紙、包装用紙など月6万5千tの紙を生産しています。

このうち古紙のリサイクルの割合は25%。印刷、情報、放送、書籍用紙として再生されます。残り75%の木材チップには、製材の廃材、虫食い材、間伐材、家屋廃材なども使われています。オーストラリアで植林しているユーカリは、約8年で成木に。消費(収穫)と生産(植林)のバランスを保ち、生態系の回復にも貢献しています。森と紙のリサイクルの取り組みです。

江戸のモノづくりを学ぶ 産業技術記念館

当日は名古屋市内にある産業技術記念館も見学。施設はトヨタグループによって設立。主な展示スペースは豊田自動織機の「織機機械館」と、トヨタ自動車の「自動車館」。ちょうど特別展「江戸のモノづくり」が開催中でした。平賀源内や佐久間象山などの発明品も展示。江戸時代の人々の巧みな技術に感心。王子製紙との調整役となっていた株式会社小村の松沢さんと木村さんに感謝いたします。

挑戦！地域から日本を変える 環境首都コンテスト 先進事例上映会

市民からの提案を予算化し、事業として実現する「協働事業提案制度」。「新しい公共を創造する市民活動条例」に基づき創設された制度です。(神奈川県大和市)

30秒あればどんな住民の要望も資料として提供、徹底した情報公開、環境基本計画の進行管理も住民が行う「環境評価部会制度」。まちの憲法「まちづくり基本条例」に基づいて進められています。(北海道二セコ町)

全員が公募委員により組織された策定委員会の策定した環境基本計画。計画の進行管理や事業化も市民による組織「エコネットワーク津山」が中心です。(岡山県津山市)



「日本のフライブルグをつくろう」を合い言葉に、2001年から始まった環境首都コンテスト。6月13日(火)名古屋市のちくさ座で、環境首都コンテストに参加する自治体の先進的な取り組みを映像化した、DVDの上映会が行われました。多くの市民や職員の肉声で語る取り組みの様子は、説得力がありました。

「コンテストを通してNGOが自治体に多様な環境政策を提案する」「自治体間により意味での競争関係をつくる」「市民が自治体の環境政策を監査する機会とする」「自治体の政策の中で、環境行政の位置づけを高める」「政策評価のツールとする」。

環境市民代表理事の枚本育生さんはコンテストの目的を以上のようにまとめています。コンテストへの参加が、一層地域の環境改善活動の向上につながることを期待されます。*****

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局

p05300@tamagawa-seiki.co.jp

木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局

ic1267@city.iida.nagano.jp



目的目標を持って地域経営を 安城市山田朝夫助役を迎えて

「行政に限らず、あらゆる仕事の基本は次の4つ...。目的・目標(何のために、何を) 人(だれか) 予算(いくらで) 日程(いつまで)。そして、この中で最も重要なのが「目的・目標」。これがしっかりしていれば、九割方は成功したようなものです。そして、この目的・目標の「立て方」というのが結構むずかしいのです。

...民間企業なら目標の立て方を誤れば倒産してしまおうでしょう。でも、行政は目標を立て損なってもなかなか倒産しない。...前年通りのことをやっておけば、とりあえず批判されることはありません。...日本中の行政で、イベントをすること自体が目的化していくわけです。イベントをやめろというわけではありません。常に『何のために』を議論し、確認し、共有することが重要だと思うのです。

行政をめぐる状況は、日々刻々と変化していきます。『行政すなわち『地域を経営する』』ということは、『計画を決められたとおりに遂行する』ことではなく、『計画を問題状況の変化に対応して遂行すること』だと私は思います。

時代の流れは『地方分権』『地域自立』。常に地域の将来のことを考え、その上でそれを今何をすべきかに結びつけられるような『経営感覚』をもてるかどうか、その地域の未来を大きく左右することになるでしょう。(H11年11月8日大分合同新聞)

安城市助役の山田朝夫さんが、大分県久住町の特別理事であった当時のレポートです。山田さんは今年4月安城市の環境担当助役に就任。平成5年総務省から大分県久住町に出向。自治官僚が市町村一般職に出向するはじめてのケースでした。平成15年大分県臼杵市の特別理事。地域再生プロデューサーとして、循環型農業の普及、地域の祭りプロデュースなどに取り組み。『日本の改革は地域から』という考えのもと、イギリスのシティマネージャーをモデルに、持続可能な社会を地域からつくっていくための「自治体経営のプロ」として活躍中です。



「挑戦！環境首都への道」 トップインタビューを行います

今年も7月11日から飯田市役所ISO14001の相互内部監査が行われます。

新たな取り組みとして相互内部監査に先立ち、牧野光朗飯田市長へのトップインタビューを行います。

7月7日(金)午後5時30分から(7時終了予定)。会場は飯田市役所3階大会議室。

テーマは「挑戦！環境首都への道」。ゲストに安城市の山田朝夫助役を迎えます。

山田さんを助役に迎えた安城市は、2005年環境首都コンテスト第3位。根羽村にある水源涵養林の保護育成活動、子ども環境アドバイザー制度、環境ボランティア劇団の活動など、環境に関わる多彩な活動を進めています。

コーディネータは環境首都コンテストを主催するNGO環境市民・代表理事の枚本育生さんです。今年の1月23日穂積亮次新城市長を迎えて行った座談会でもコーディネータをつとめました。



安城市山田助役と牧野飯田市長の対談を通して、飯田市環境政策の課題を明らかにします。そして明らかになった課題をISO14001内部監査における重点監査事項とし、この対談の結果を相互内部監査につなげます。

日本のフライクブルクをつくろう。2001年から始まった環境首都コンテスト。環境課の政策評価というよりは、持続可能な地域社会をつくるための、総合的な自治体政策の健康診断の取り組みです。

相互内部監査に参加を希望されている皆さんは、ぜひトップインタビューにもご参加ください。トップインタビューを受けた重点監査項目は、翌7月8日にHPでも公開します。参加を希望される方は、お名前、勤務先など電話番号を次のアドレスへご連絡ください。

<mailto:ikankyosho@city.iida.nagano.jp>

内部監査の詳細は、以下HPをご参照ください。

<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyosho/manage/index.html>

地球益の推進を 高岡商工会議所青年部と交流

6月16日(金)、17日(土)両日、高岡市商工会議所青年部環境委員会の一行が、研究会の活動を視察。目的は南信州いむす21取り組みの実際。同青年部は204人の異業種メンバーで構成。11委員会に分かれた活動を進めています。環境委員会では、中小企業でも可能な独自の取り組みを研究中。南信州いむす21のしくみに注目し、今回の視察に至りました。

16日はまず、商店街としてEMSに取り組むガーデン4の取り組みを視察。「再生しようなんて考えません。必要とされる商店街を私たちがつくります。」(長沼秀毅さん)。常に新しい情報を発信し、まちの魅力を演出する。EMSもそのための仕掛けです。

アースグリーンマネジメントの工場見学の後、環境技術開発センターへ。青年会議所メンバーとして環境問題に取り組んだ井坪正さんと飯田商工会議所の松島茂夫さんを中心に意見交換。「環境の取り組みは必ずしも売り上げやコストに反映しません。これまでの開発志向型から環境志向型へパラダイムをシフトする『地球益』の視点が重要です。」(井坪さん)。



翌17日は飯田クリーンと信南サービスが運営する中央自動車道駒ヶ岳SAを視察。「小さな事業所でも取り組むことのできる南信州いむす21を通し、一人ひとりの環境意識を変えていくことに意義があります。」(飯田クリーン相津博人さん)。信南サービスでは、従業員一人ひとりの改善提案制度一日一善の取り組みを視察。仕入れに使うリターナブルの通い箱。トウモロコシ製つまようじを堆肥に周辺緑化。社員一人ひとりが環境改善提案を行うに至る意識の高さに感心。

「地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境文化を創造する。」点から面へのぐるみ運動。研究会の思いの広がりを実感する機会でした。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



98事業所6,193人が参加 エコドライブ推進月間

「到着時間に余裕を持ったスケジュールで運転する」「買い物をもとめで行うことで、自動車の利用を減らす」「渋滞の場所や時間をさけて運転する」「なるべく半クラッチを使用しない」「環境グッズを自動車に取り付ける」「いつも燃費を確認する」「家族や知人にも取り組みを広げる」。

5月はエコドライブ推進月間。冒頭はエコドライブ月間の参加者の、「私の行うエコドライブ」からの抜粋。たくさんの方の知恵が集まりました。



98事業所6,193人が参加。家族参加も1世帯。昨年10月のノーマイカー通勤推進月間の参加は38事業所、1,511人。研究会の参加者も、1,426人から4,021人と、大幅に増加しました。

会社の立地条件や、勤務の体制など、通勤だけの取り組みでは難しい事業所が多いことから、通勤以外やエコドライブまで取り組みを拡大。南信州いむす21やISO14001等EMSに取り組む事業所などにも広がったことで、参加事業所、参加者数とも大幅に広がりました。

我が社のエコドライブ 各社、創意工夫の取り組みも

「効率の良い運転ルートを選択する」「適正速度で運転する」「自動車の整備点検」「エアコン使用を控える」「エンジンブレーキを利用した運転」「エコドライブの体験事例を発表する」。今回は各事業所ごとに共通の「わが社のエコドライブ」にも取り組みました。

エコドライブ推進月間を呼びかけたノーマイカー方策推進研究会では、ノーマイカー通勤に加え、「通勤以外のマイカー利用の自粛」「アイドリング・ストップ」「急加速・急発進を行わない」という3つのエコドライブを共通の取り組みとしました。

CO2換算で60tの削減 50mプール16杯分に

今回の取り組みをCO2に換算すると、約60t。50mプール(約1,900kl)19杯分となります。

1990年の735,000tから2010年の661,500tへ、10%66,103tを削減する。2004年9月、地球温暖化防止に向けて飯田市が策定した「飯田市新エネルギー省エネルギー地域計画」で定めた温室効果ガス削減の目標です。

エコドライブ月間の取り組みを年間通して実施することで、飯田市の削減目標全体の1%強となります。エコドライブの取り組みが、飯田市の取り組みに影響を与える数字になってきました。

「エコドライブ活動に広げたことで、参加しやすくなった」「事業所中心の取り組みから地域ぐるみの取り組みに広がっていきたい」「飯田市だけでなく、南信州全体の取り組みに広げたい」参加事業所の感想です。

研究会に参加した事業所には、記念品として地元間伐材を利用したりんごの置物が送られました。

取り組みの一層の広がりが期待されます。



ホタル観察会に参加しませんか

飯田市の中心市街地、吾妻公園で、7月1日(土)午後8時から、ヘイケボタルの観察会が行われます。



「谷川にホタルの見える環境づくり」主催。会では公園内にビオトープをつくるなど、環境改善の活動に取り組んでいます。今年は6月16日から公園内に舞い始めました。

午後8時前後にオスの成虫が飛来。葉の上にいるメスにたいし、光を放ってアピールします。光っているホタルを見ることができるのはわずか20分ほどだそうです。ご家族知人誘い合って参加してみませんか。問い合わせは会の代表加藤勝さんまで。(電話 22-4679)

飯田市の自治を考える 自治基本条例シンポジウム

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根づいた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちと知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、...まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治のしくみを定める飯田市自治基本条例を制定します。

これは今年9月議会に提出される飯田市自治基本条例原案の前文(抜粋)です。平成16年度「わがまちの“憲法”を考える市民会議」を設置。議会による設置は日本で初めての試みです。議員に加えて市民、職員、有識者によって検討が進められてきました。現在パブリックコメントを実施中。

今なぜ自治基本条例が必要なのか、改めて考える機会として「飯田市自治基本条例シンポジウム」が行われます。

7月22日(土)午後1時から4時15分まで。飯田市鼎文化センターにて。主催は飯田市議会。

基調講演は東京大学名誉教授の大森彌さん。基調講演に続いてシンポジウムが行われます。シンポジストは牧野飯田市長、高坂詢さん(市民会議座長)、関口節三さん(飯田市自治協議会連合会長)、多和田真理子さん(市民会議委員)、中島武津雄さん(市議会自治基本条例特別委員長)です。

まちづくりの主人公は一人ひとりの市民。自治体の憲法ともいえる自治基本条例について学んでみませんか。条例の詳細、パブリックコメント、シンポジウムの詳細については、飯田市議会のHPを参照ください。

<http://www.city.iida.nagano.jp/gikajimukyoku/gikai.htm>

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tanagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



挑戦！環境首都への道 安城市山田朝夫助役を迎えて

人口17万4千人、面積86.01km²、標高0mから20mの平坦な地。明治初期、大規模な灌漑事業によって明治用水を付設。以来日本のデンマークとして農業が発達。日本の近代農業草分けの地として知られています。近年は工業の発達も著しく、平成16年の工業出荷額は1兆3,826億円。(飯田市はH15年2,468億円)。名古屋市の南部に位置する安城市の概要です。

7月7日(金)、安城市助役山田朝夫さんを迎えたトップインタビュー「挑戦！環境首都への道」が行われました。



コーディネータは環境首都コンテスタを主催する環境市民・代表理事の枚本育生さんです。

今回の催しは、7月12日からはじまる飯田市役所ISO14001内部監査にあわせて開催。内部監査にたいし、トップマネジメントである牧野飯田市長の意向を反映させることが目的。飯田市役所としても初めての試みです。

本年度の重点監査項目

牧野市長から示された重点監査事項は以下の通りです。

本年度の内部監査を実施するにあたっての重点監査事項について、「環境影響評価、法令等の特定及び目標の展開の適否」のほか、次の3点を加えます。

「サービス業のプロとしての自覚」をもって仕事を遂行するために、課等の長として、職員に対し、どのような指導をしているか。また職員は指導の成果を、仕事を進める上でどのような形で具体化しているか。(基本理念より)

持続可能な社会を創造するための、市民・事業者などと協働した地域ぐるみの取り組みを、どのような形で具体化しているか。(基本方針(1)より)

各課等の業務を進める上で、市民にたいし、良質なサービスを提供するために、どのようにシステムの継続的な改善に取り組んでいるか。(基本方針(4)より)

枠を越えた仕事ぶりを サービス業のプロとして

山田さんは今年4月、現職に。総務省出身。地域再生プロデューサーとして、大分県久住町、同臼杵市などこれまでの仕事の大半を地方自治体現場で送ってきました。

4月、安城市に環境担当第2助役として赴任。6月、「市役所周辺を美しくする会」通称「おはよう会」を設立。毎週月曜日朝7時45分から30分間、市役所周辺の清掃作業を始めました。役所の職員は決められたことをきっちりすることは得意。しかしそこを越えることが必要。やらなくても良いことをやることによって胸を張って市民と相対することができる。それが市民との協働の出発点。おはよう会の目指すところです。

与えられた枠の中で仕事をしているだけでは「サービス業のプロ」としての自覚にはつながらない。はみ出して仕事を進めることが大事。牧野市長の発言です。

×を増やしていく 継続的改善のめざすもの

「×をふやしていきたいんです」。安城市では環境基本計画の進行管理を毎年の環境レポートで公表しています。環境レポートはすべての項目に目標を設け、達成していれば、未達成は朱色で×がつけられます。

冒頭は山田さんの言葉です。「目標を掲げて仕事をマネジメントする。ISO 14001のしくみは大事です。その反面、達成しやすい目標にレベルを落とすことで、スパイラルダウンにつながりかねません。「役所は計画や条例を作った時点で止まってしまう。民間は生産ラインをつくったところから始まります。役所と民間の決定的な違いです」。

×をふやすということ。常に改善の余地のあるところを見つけるという仕事の姿勢が求められています。内部監査員、被監査部課等の長とも「不適合」「観察事項」をおそれずに、スパイラルアップにつながる内部監査が求められます。



環境首都圏域づくりを 地域ぐるみで

「環境問題は特定の区域ではなく、広域的に連携して取り組むことが必要です」。地域ぐるみISO研究会の活動を例にとり、環境問題に取り組む視点について牧野市長が発言。

天竜川流域の三遠南信圏域の一体的発展。多様な産業、日本のものづくり集積地。豊かなライフスタイルの提供。特徴的な文化、風土。以上の条件を備えた「東濃」「三河」「遠州」「南信州」を日本の「環境首都圏域」として発展させたい。牧野市長の提案です。

持続可能な社会をつくる

「人が基礎」「参画と対話：市民とのパートナーシップ」「持続可能な条件は、環境、経済、社会的公正すべてを満たすこと」「誰でもわかる率先例を」「戦略としてのアジェンダ21/環境基本計画を持つ」「行政・施策の総合化」「わかりやすい将来像がある」。枚本さんの考える、持続可能な社会をつくるために自治体に求める7つの条件です。

建設部による、老朽化した水路の改修計画。環境基本計画に基づく親水空間としてのピオトープづくり。行政改革の視点から、企画・設計時からの住民参画。職員研修の一環、職員によるメダカの学校という自主的な取り組みへ。水路の改修が様々な施策へ波及。枚本さんが紹介した多治見市の取り組みです。多治見市では、毎年6月に企画課(総合計画・行政改革)、財政課(財政計画)、人事秘書課(目標管理・人材配置)、環境課(環境基本計画、環境ISO)が一堂に会し、各課の事務事業を評価する政策形成ヒアリングが行われています。

バブル崩壊後、限りある資源を有効に活用しながら持続可能な地域をつくるために、自分たちで地域をマネジメントする力が求められています。そのためには縦割りの仕事の枠組みを越えて、必要な課題に臨機応変に異なる組織が結びついていく。これを牧野市長は「統合的アプローチ」と表現します。

今回の内部監査が環境を切り口に、市役所各課、一層の業務改善の糸口につながることを期待されます。

「プロ」「協働」「改善」今年の内部監査のキーワードです。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川(精糖株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp





本来業務に環境視点を 飯田市役所ISO14001 内部監査スタート

「ゴミのポイ捨てをしないさせない住民運動を進めています。西武山麓線に紅葉を植える取り組みも始めました。(伊賀良支所)「地域全体で花一杯運動に取り組んでいます。エコツーリズムの受け入れや、地元の子どもたちにたいする体験教育活動も進めています。(山本支所)「市民バス利用者には自治会が1回100円助成しています。(三穂支所)



7月11日から飯田市役所ISO14001相互内部監査が始まりました。市内13の市役所支所にサイトを拡大、部長層にたいする監査も試みられたことから、被監査対象が56に広がりました。14日現在で19箇所の監査が終了。研究会からも相互内部監査員、オブザーバとして延べ18人が参加。相互内部監査の中心です。

冒頭は新しくサイトに入った支所の監査で紹介された、地域ぐるみの環境改善の取り組みです。今年4月にサイトに入り、初めての内部監査でしたが、相互内部監査員も加わり、緊張感ある内部監査となりました

継続的改善につながる 不適合を

「xを増やしていきたいんです」。7月7日(金)、トップインタビューの安城市山田助役の発言です。達成しやすい目標を掲げて満足するのではなく、もっと良い取り組みに広げていくために積極的に課題を見つける姿勢が必要であるという意味。内部監査を継続的な改善につなげるためには不適合の指摘を受けた是正措置が有効です。

「本来業務にどう踏み込むか」「今一度環境方針に立ち戻る」「環境側面と法的その他の要求事項」今年の監査の焦点になりそうです。相互内部監査への参加、随時受け付けています。

<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyosho/manage/index.html>

アレチウリの駆除に 参加しませんか

1952年アメリカ大陸から帰化。ウリ科。繁殖力が強く他の植物をおおいつくし、おおわれた植物は光合成ができずに枯れていきます。それに伴い昆虫や動物もすみかが狭まります。

冒頭は帰化植物アレチウリの特徴です。



この地方では始め天竜川の河川敷中心に分布。今は身近な林、休耕地、段丘崖、道路周辺などにも広がっており、私たちの生活を脅かしています。アレチウリ駆除の活動が行われます。

天竜川流域侵略植物駆除 7.30大作戦 天竜川ゆめ会議

川に親しみながら、郷土の宝、天竜川の自然、文化、歴史を後世に残す。天竜川ゆめ会議は上記の目的で活動を進める市民団体です。

7月30日(日)小雨決行、集合7時(10時終了予定)、集合場所 弁天港対岸(下久堅)、服装・持ち物 長靴、長袖、長ズボン、帽子、水筒、タオル、手袋、鎌など。申し込み不要。

照会先は、天竜川ゆめ会議飯田会場実行委員会 羽場崎清人氏(23-6724)まで。

アレチウリ撲滅大作戦 アルプスぼうけん倶楽部

アルプスぼうけん倶楽部は、ラフティングや沢登りなど体験教育企画を提供する会社です。

第1回 8月5日(土)、第2回 8月27日(土)、各回9時30分集合(15時終了予定)、集合場所 天竜川総合学習館「かわらんべ」、午前中は「かわらんべ」で学習会。午後にラフポートに乗って駆除作業。対象は小学5年生から中学3年まで(親子参加もできます)。参加費2,000円(大人3,000円)。申し込みが必要です。照会先はアルプスぼうけん倶楽部(59-8881)まで。

自然と文化の宝庫 上村に行ってみませんか

南アルプス登山の入り口、日本のチロルといわれる下栗、重要無形民俗文化財「霜月祭り」。自然や文化の豊かな地、飯田市上村、南信濃地区を訪問しました。

重要無形民俗文化財の霜月祭り。冬の南アルプスの峰峰から吹き下ろす木枯らしが山里の村々を吹き抜ける旧暦霜月(12月)は、太陽の光が弱まり、あらゆる命の力が衰える。そこで諸国の神々を招待し、お湯を献じ、自らもお湯を浴びることで生命力を強める。今から800年ほど前、宮中で行われていた湯立ての舞を持ち帰ったことが起源といわれます。

上村の霜月祭りは毎年12月、上町、中郷、下栗、程野の4地区で夜を徹して行われます。

上村、南信濃はかつて林業の一大産地でした。江戸時代は天領とされ、年貢が免除された代わりに豊富な材木を幕府に献上。江戸中期の豪商、紀伊国屋文左衛門は、江戸大火の際に材木を買い占めて巨万の富を築いたといわれますが、その材木は上、南信濃から仕入れたといわれているそうです。



飯田市内からさらに車で小1時間。そんな地勢がこの地域固有の独特な文化を育ててきたのでしょうか。

「まつり伝承館、天白」で、上村地区の文化・歴史を学ぶことができます。

標高1900mのしらびそ高原からは南アルプスだけでなく、中央、北アルプスの一部を望むこともできます。しらびそ高原に近い御池山では2~3万年前に直径45mの隕石が落下してできた巨大なクレーターが発見されています。

ぜひ一度遊びに行ってみませんか。詳しくは南信州ナビを参照ください。

<http://www.ii-s.org/>

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川畔青織林) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



市役所内部監査、 集中豪雨のため 一部延期となりました

15日午前6時から21日午前7時までの総雨量330.5mm。飯田市に災害の大きな爪痕を残した昭和36年の通称36(さぶろく)災に匹敵する雨量。

幸いにも人や家屋への被害はなかったものの市内でも土砂崩落、倒木、落石、道路障害、水害などが多発。松尾や下久堅地区の一部では公民館や集会所などへ600人余の皆さんが避難しました。

飯田市役所も全庁あげて災害対策に取り組みました。特に18日から19日かけては徹夜体制で災害本部が置かれ、現地で土嚢づくりや崩壊しそうな河川へ土嚢を積み込む作業も行いました。

そのため、何よりも市民の生活の安全確保が第一であることから、19日(水)から24日(月)にかけて予定されていた飯田市役所ISO14001内部監査を延期としました。対象となる被監査部課等の長は18。改めて実施することとなりました。日程など詳細は後日お知らせします。相互内部監査、オブザーバの立場でぜひご参加ください。

23日以降、再び天候が崩れるという予報ですが、今回の降雨によって土壌は大量の水分を蓄えています。引き続きいざというときの備えが必要です。

25日からの内部監査は 予定通り行います

なお、21日以降ほぼ降雨も収まったことから、25日以降の内部監査は予定通り実施します。

「ツアーオブジャパンの参加者を迎えるために、住民あげて競技コースを清掃しました」(下久堅)「環境に関わる大事な情報は職員全体で共有しています」(上久堅)「すべての団体通知に環境に関するメッセージを掲載しています」(千代)前回に引き続き実施した支所の内部監査では、支所ごとに創意工夫した取り組みが見られます。

一方、環境影響評価や法的及びその他の要求事項調査では、多くの被監査課で共通した課題が指摘されています。

市長の示した重点監査項目のキーワード「プロ」「協働」「改善」。多くの課題を見つけて継続的改善につながる内部監査が期待されます。

「自治」を身近に感じよう 自治基本条例シンポジウム

地域で子育て支援の活動を進めるグループの代表Mさんに、産科問題について話を聞きました。かつてこの地域では13の産院が分娩を扱っていましたが、今は飯田市立病院など3箇所のみ。これから子どもを産み育てようという親たちにとって、大きな問題です。少子化と医師の担い手不足が大きな理由のようですが、この問題から様々な社会問題が見えてきます。

過酷な仕事から家庭と両立できずにやめていく、女性医師の労働問題、命の大切さが軽んじられ、また、結婚や子育てにあこがれや必要を覚えられない今の社会のありよう。

「今、豊かさや便利さとひきかえに、他人を思いやり、人を傷つけないことなど『心』が貧しくなっているのでしょうか？産科問題も、社会の底辺の問題から考えないと、本当の意味での解決に向かいません」。Mさんの発言。

Mさんのような問題当事者の参加。そして自分や仲間の問題を自分や仲間の力で解決していく。「自治」というのは本当はこういうことなのかな、と考える機会でした。

日本で初めて 議会がつくった条例案



7月22日(土)県文化センターを会場に飯田市自治基本条例シンポジウムが行われました。主催は飯田市議会です。会場準備や受付、進行まですべて市議会議員と事務局職員の手で行われました。

平成14年、飯田市議会在り方研究会が設置されてから、飯田市議会は大きく自己改革を進めていきます。「議会定数の削減」「一問一答方式の採用」「本会議をCATVで生中継」「議会HPで議事録をすべて公開」など枚挙にいとまがありません。

わがまちの憲法「自治基本条例」はそれらの活動の到達点ともいえます。

活かされてこそその条例 大森彌さんの講演から

平成16年5月、飯田市議会の諮問会議「わがまちの憲法を考える市民会議」設置。合議体である議会に諮問機関は置けない。かつて総務省が判断。「審議会を設置したこと。これも日本の地方自治の歴史に輝きます」基調講演講師、東京大学名誉教授、大森彌さんの発言です。



かつて住民サービスは行政の仕事ととらえられていました。そして市民はサービスの受け手。サービスを要求する人。

「自助・共助・公助」ということばがあります。ハンデキャップがあっても自分でできることは自分で行う。自分だけでできないときは仲間で助け合う。それでもかなわないことは公的なサービスを受ける。

「下駄履きヘルパー制度」。長野県北部の豪雪地、栄村で考え出した制度。多くの地域住民がヘルパー資格を取得。隣のお母さんがヘルパーであることで在宅介護がかなう。介護保険料も県内最低額です。公共サービスは行政でなくてもできるものがあります。

協働。行政に市民が協力するのはなく、市民も行政も対等の立場で、公共の問題をともに考え行動する。自治基本条例案には協働ということばを始め、社会で動き始めている新しい試みが表現されている。そういう意味でも今回の条例づくりは先駆的な取り組み。大森さんの評価です。

自治の中味はこれから シンポジウムの発言から

「義務ではなく役割。本来自治は人にいわれてやるのではなく自らの考えと行動によるもの。もともと自治ということばは自分には遠い存在と思っていました。子どもが産まれてみて、他人の助けがあって自分があることを実感。市民一人ひとりが必要な役割と感じて参加することが大事」。シンポジストの多和田さんの発言です。

わがまちの憲法「自治基本条例」制定されてからが本番です。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川研機機) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



新システムで審査中 南信州いむす21

「RoHS対応システム体系図を作成し、鉛フリー塗装に取り組んでいる(大蔵製作所)」「毎月2回2Sの日を定め、取り組みの周知徹底を図っている(トーキュー精機)」「会議記録をデジカメで記録し、電子化することで紙を節約している(ナガノ京信)」「環境方針、取り組み目標をカード化し、社員全員が携帯している(森脇精機、龍光電気工業)」「職場のボードに省エネルギーなど環境に関わる情報を掲示して、情報を共有している(ミナミ)」「ミキサー車を個人管理とし、燃費の節約に取り組んでいる(アザレーミックス)」



南信州いむす21改定後、初めての審査が行われています。対象は更新事業所24社、新規1社。このうち3社が中級に挑戦しています。

冒頭はすでに審査が終了した事業所の、特徴的な取り組みを抜粋したものです。事業所ごとに、創意工夫した取り組みが行われていることがわかります。

審査は研究会事業所から選ばれた審査員が異業種の監査チーム13班をつくり、1班あたり平均2社の審査を行っています。異業種の審査員が複数でチームを作って参加することで、審査員も被審査事業所も良い意味での緊張感が生まれています。

今回の事業所の多くは、2003年5月20日に初めての登録。31事業所のうち7事業所は南信州いむす21をステップとしてISO14001に移行しています。

本来であればすでに更新登録が終わっているところですが、新システムへの移行に伴う手続きから、更新時期を延期して審査を進めているところがあります。8月11日(金)に行われる南信州広域連合会議で判定会議が行われ、合格した事業所には8月中に新たな登録証が交付されます。登録証交付の日程は、該当事業所の皆さんに改めて連絡いたします。

夏は飯田で過ごしませんか いいだ人形劇フェスタ

「支えあい、創りあう。今、フェスタがうれしい、人形劇だからおもしろい」。人形劇カーニバルから通算で28回目となるいいだ人形劇フェスタ。日本最大の人形劇の祭典。今年のキャッチフレーズです。



8月3日(木)～6日(日)飯田市内や周辺市町村約100会場で300近い作品が上演されます。全国各地から2,000人近い劇団員が参加。イベントを支えるボランティアスタッフも2,000人。文字通り市民中心の催しです。

フェスタに参加するためには、参加証として700円のワッペン(写真)が必要です。このチケットが入場券の代わりにもなります。ただしワッペンに加えて有料チケットの購入が必要な公演もあります。

今年の特徴は3つ。

大ホール向け人形劇特集:ひとみ座、ブーク、クラルテ、むすび座など国内有数の劇団が上演します。

人形劇表現のいろいろ:人形劇だからできる不思議な表現を鑑賞します。

アザレア賞受賞記念アマチュア人形劇特集:浜松市いなさで行われるいなさ人形劇まつりで表彰された、優れたアマチュア劇団の上演です。

他にも「大人が楽しむ人形芝居」「はじめてであう人形劇一日丸ごとキッズワールド」「ヨーロッパnow the second」「伝統人形芝居」など盛り沢山の企画が用意されています。

人形劇は子どものもの。そんな常識をひっくり返す、大人でも十分その魅力を満喫できる催しです。

期間中、フェスタセントラルパークでは地元ならではの食べ物ブースが設けられ、イベントも行われています。8月5日(土)午前11時から中心市街地一帯で行われる歩行者天国「ふれあいアップルタウン」商栄会ごとにユニークな催しが盛り沢山。午後7時から飯田りんごん、丸ごと一日楽しめます。

夏は飯田で人形劇。ご家族、お友だち誘い合って、飯田の夏を満喫しませんか。

詳細は下記HPまで。

<http://www.iida-puppet.com/>

基本構想ただいま策定中 市民参加で進行管理も

「住み続けたいまち 住んでみたいまち 飯田 人も自然も輝く 文化経済自立都市」。

平成19年からスタートする飯田市第5次基本構想。構想づくりに向けた取り組みが進んでいます。冒頭は基本構想の目指す都市像です。

構想づくりの一番の特徴は市民参加。計画策定への参加はあたりまえですが、基本構想に基づいて策定される基本計画の進行管理まで市民参画が進められます。



「多様な産業が発展できる、経済力の強いまち」「地育力による心豊かな人づくり」「健やかに安心して暮らせるまちづくり」「人の営みと自然・環境が調和したまちづくり」「地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり」「自立・連携した地域づくり」「市民とともに進める行政経営」「交流と連携を生むまちづくり」。

41人の市民検討委員、26人の職員が、8つの政策分野に分かれて検討を進めています。現在まで19回の市民検討会議と16回の庁内委員検討会議、そして市民検討会議の発言を受けた、庁内組織横断の7回の調整会議などが行われています。

3月までに政策分野ごとの施策を決定。現在は既存の事業を新しい政策ごとに見直し評価を進めています。数値目標などすべての施策に指標を設けながらの議論。検討結果は「施策マネージメントシート」にまとめられ近々公開される予定です。

まちは住む人皆でつくるもの。「飯田市役所」ではなく「飯田市」の基本構想として、飯田の未来の指針となることが期待されています。

集中豪雨によって、予定されていた飯田市役所の相互内部監査のうち7月19日、20日、21日分16の部課等が延期となりました。

次回通信で改めて相互内部監査への参加を公募させていただきます。お忙しい時期とは思いますが、ぜひ多くの皆様の参加、お待ちしております。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株式会社) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



ISO14001をめざして 新しい仲間が加わりました 株式会社タカモリ

地域ぐるみ環境ISO研究会に、新しい仲間が加わりました。株式会社タカモリです。主な業務はOA機器、家電製品、自動車部品用の、精密プレス金型設計製作、プレス加工・精密治工具加工。豊丘村神稲に本社がありますが、中国に150人規模、インドネシアに360人規模の関連工場のある、国際的な会社です。



PT タカモリインドネシア

コンピュータや通信機器、家電製品などで、有害な化学物質の使用を禁止するRoHS(ローズ)指令。2006年7月にEUに加盟する15カ国で施行されました。タカモリは国際的な取引の多い仕事柄から、RoHS指令に対応できる、環境経営を目指しています。

昨年3月17日に南信州 いむす21に登録。その後社内で環境委員会を組織し研究を進めてきました。

「エコアクション21の研究や、コンサルティング会社にシステム作りを預ける方法も検討。けれども自分たちで考え、自分で表現した、自社独自のシステムを作りたいと考えました。目ざすは国際規格ISO14001の認証取得です。この研究会に参加することを通し、先輩企業に学びながら、取得を目指します」。実務担当取締役部長、中塚尚さんの話です。

研究会のメンバーです。多摩川精機(株) 旭松食品(株) 飯田市役所 飯田信用金庫 中部電力(株)長野支店 飯田営業所 (株)シチズン 平和時計 三菱電機(株)中津川製作所 飯田工場 オムロン飯田(株) TDK 飯田(株) 八十二銀行飯田支店 井坪設備工業(有) (株)光和 (有)アイエス精工 エコトピア飯田(株) (株)アース・グリーン・マネジメント パチンコダイエーグループ 東日本システム建設(株)飯田支店 盟和産業(株) 化成工業(株) 吉川建設(株) 木下建設(株) (株)原鉄 神稲建設(株) 南信共同アスコン(株) 飯田商工会議所 信南サービス(株) (株)トーエネック 長野支店 飯田営業所 夏目光学(株) (株)マエダ、(有)雨宮印刷そしてタカモリの加入で31事業所となりました。

事務局監査終了 市役所ISO14001内部監査

7月28日(金)飯田市役所ISO14001内部監査、事務局監査が行われました。

今年は環境管理責任者と事務局に分かれた監査を実施。各2人の内部監査員の他、相互内部監査員として8人、オブザーバ7人が参加。相互内部監査員は全員が環境審査員有資格者。緊張感のある監査が進められました。



「環境方針でも掲げた、温室効果ガス10%削減。飯田市役所全体に共通した目的目標を設けることが必要ではないか」「環境影響評価、法的その他要求事項調査と、目的目標実施計画を課長層に預けることで、課ごとの創意工夫した取り組みは見られた。しかしマネジメントシステムとしては分権的な取り組みだけでなく、組織全体の統合統制が必要」「法的及びその他の要求事項を調査する力量をつけるために、教育訓練を行うことが必要」など、飯田市のシステムにたいし、多くの指摘が出されました。内部監査の総括は、改めてご報告します。

豪雨順延の内部監査 ぜひご参加ください

7月15日から20日にかけて集中豪雨で順延された相互内部監査を改めて行います。

すでに日程の決まっている部課等から、順次以下のHPに掲載します。

<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyos/manage/index.html>

8月中には順延された部課等の内部監査を完了する予定です。参加を希望する方は、

お名前、勤務先など、電話番号、資格・経験、監査をご希望の課(複数可)、「監査」「見学」の別など明記の上、以下のアドレスにメールをお送りください。

ikankyos@city.iida.nagano.jp

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

黒澤明とマキノ雅弘 日本の名作映画を 鑑賞しませんか

「飯田の中心市街地：通称丘の上」と「りんご並木」を元気にしよう。市民活動団体IIDA WAVEは2000年に誕生しました。活動グループの一つ、MUSIC WAVE IIDAでは、りんご並木の三連蔵でサンデーライブを定期開催。優勝者にはCDデビューをサポートするTHE FINAL。映画「誰も知らない」の挿入歌「宝石」で知られるタテカコさんもIIDA WAVE が活動の出発点です。



Cinema WAVE IIDAは、ロードショーでは見ることのできない国内外の名作映画を鑑賞するグループです。

10月14日(土)午後1時から、飯田市公民館を会場に、「飯田の丘のまちで日本の名作映画を鑑賞する会」を行います。作品は、黒澤明「隠し砦の三悪人」、マキノ雅弘「次郎長三国志」。料金は500円で、当日チケットのみ。またCinema WAVE IIDA会員になると、年間を通して名作を鑑賞できます。詳しくは以下HP参照。

<http://nagano.cool.ne.jp/iidawave/>

その街に住んでみたい、住み続けたい。そのためには薫り高い文化があることも大事な条件。持続可能な地域づくりに欠かせない活動です。

これは便利 丘の上駐車場ガイド

IIDA WAVEでは、丘の上駐車場ガイドも作成しました。まちなかに出かけてみたいとき、大きな催しのあるとき、とても便利な情報です。以下HPをお気に入り登録しておきませんか。

http://www.machikan.jp/iidacity_parking/iida_parking_map_index.html

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機(株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



木一本が腕一本 函南原生林を歩きました

「木一本が腕一本。江戸時代からの掟が、今も森を守る歴史につながっています。」

8月6日(日)箱根山にある函南(かなみ)原生林を訪れました。



案内人は箱根山禁伐林組合事務局専従職員の杉山隆章さんです。

この森は下流域にある函南町や三島市の水田や生活用水の元となる水源涵養林です。過去には森が荒れ、下流に水を供給する来光川が濁水し、飢饉につながったことがありました。

そこで下流域の村人たちは先祖代々この森を守るために、自主的に「禁伐」の掟をつくり、資金や労力を提供しながら保護してきました。

山を共同の資産とする「財産区」は飯田にも数多くありますが、山を切らずに守るための「禁伐林」を共同管理するという取り組みは、他にあまり例を見ません。

函南原生林は総面積223ha。標高600m～800m、箱根外輪山の一つ、鞍掛山の南西斜面にあります。アカガシ、ブナ、ヒメシャラなど、シダ植物以上の高等植物114科、293種、56変種、14品種が確認されています。元々は入会の権利を持つ人だけが、枯れ枝を集めるために入山することだけが許されていました。



現在は原生林の中に全長2.5kmの「学習の道」をつくり、学術研究などで許可を受けた人だけが入ることができます。

山は荒れている

学習の道は函南禁伐林組合の皆さんの手によって造られた林道です。急勾配の昇り下りの傾斜であることから丸太を使った階段がつくられています。

推定樹齢500年を越える巨木も多くありますが、学習の道にむき出した根を人が踏み歩くことも原因の一つ。多くの巨木が枯れはじめています。



また外来種であるハコネダケ(笹の種類)の繁茂によって、寿命を終えた巨木の後継樹が育ちにくくなっています。繁茂するハコネダケが、種を土に定着させるのを阻害する。せっかく定着した種も、ハコネダケによって成長を妨げられる。考えられる理由だそうです。



函南原生林には名前と異なり、先達が入れてつくられた人工林地帯もあります。植えられた杉の木の一部は、丁寧な間伐や枝打ちが行われ、美しい杉林になっています。けれども一歩踏み入ると、ここしばらく手を入れていない場所が大半です。

「あまり密植した杉林では、杉の木1本1本がやせ細っています。そういう杉の木は、水を自分の成長のためにすべて蓄えようとして、やせ細って密植した杉林は地下に水を環流させず、水源涵養林とはなりません。実際この地を源流とする来光川の推量はかつての2/3ほどに減少しています」。杉山さんはこの山の保水機能の低下を危惧しています。



見事な樹木の保水機能

「雨の日にブナの巨木の元で雨宿りしていると、ブナの葉っぱに蓄えた雨水が、見事に幹に集まって地下に浸透していくことがわかります」。森の木の保水機能をあらわした杉山さんのことばです。

一度人が手を入れた山は、手を入れ続けなければ荒れていきます。そして保水機能も低下していきます。緑豊かな伊那谷も、他人事ではありません。

「薪の調達や炭焼き。里山が日常生活に不可欠であった江戸時代。2,000万人の山仕事のプロが里山を管理していました。現代は約3万人のボランティアが、仕事と両立させながら山を守ろうとしています。里山の荒廃は深刻です」。いっしょに原生林に入ったNPO法人しずおか環境教育研究会代表の大畑実さんの発言です。

山を守るためのしくみづくりは、私たちの暮らしを守るためにも重要で、緊急の課題。そんなことを実感する機会となりました。



普段は水のない河川



樹齢五百年のアカガシ



険しい林道

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川(津久井)研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



ワークショップ お嫁さんのレシピに 参加しませんか

「ばっか食べ」旬には毎日同じ野菜が収穫できます。連日その野菜ばかり食べるのだそうです。



信州の南端にある泰阜村。自然以外何もないこの村で、人々

は自然を最大限に利用して暮らす術を身につけてきました。不揃いで出荷できない梅が、ご近所中に配られ、各家で梅干し、梅酒、梅シロップにかわります。その梅が夏の間、皆の健康を支えてくれます。

「この村で暮らす一番の幸せは毎日、取れたての野菜が畑からそのまま食卓に並ぶこと。あるおばあちゃんのことばです。

ほっとする空間をつくる「草木染め」。のれん・ストール・風呂敷などをつくります。

道具を育てる「包丁研ぎ」。自分で手入れした包丁で料理をつくる。包丁を研ぐことで、自分の心も研ぎ澄まされていきます。

とっておきをおつらえる「果実酒・野菜茶づくり」。木の実や野の草を摘んでつくります。「私だけ」のとっておきの色を添えてくれます。

イブニング・ツリー・ハウスカフェパーティー。山の奥のツリーハウスで夜を過ごします。

泰阜村に根づく自然の中のやさしい暮らし、みんなが忘れかけた丁寧な暮らしを、自分の家に持ち帰りませんか。家族のいる人、まだ家族のいない人、暮らしを大切にしたいすべての女性のためのワークショップです。

とき 9月16日(土)~18日(月)
費用 35,000円
定員 10人
主催 NPO法人グリーンウッド
自然体験教育センター

詳しくは、以下HP参照のこと。

<http://www.greenwood.or.jp/workshop/yomecamp/06yome.htm>

上久堅の青年たちの心意気 「動けば変わる」映画会上映

「映画を見て、こんなことができちゃうなんて、やってみるもんだなと思いました。私はこの映画の言葉『動けば変わる』にはげまされ、この言葉を信じて今もチャレンジを続けて生きています。皆さんも希望と勇気のエネルギーが充填できると思います。この映画に込められているいくつかのメッセージ。とても大切なメッセージが、一人でも多くの人の心に届くことを祈っています。」(加藤美の里さん)

9月16日(土)午後7時から、上久堅公民館を会場に映画会「107+1 天国はつくるもの 動けば変わる」が行われます。主催はわらふくの会。加藤美の里さん、塩沢伴憲くん、橋爪秀昭くん、近藤慎くん4人の青年グループです。会の名前の由来は「笑い門には福来たる」。大人1,000円、中学生以下500円のチケットが必要です。



この映画は、何の知識もないどころかとたちが、環境問題、海外支援、そして沖縄から鹿児島まで、900kmの海を手こぎの船でわたる。3つの挑戦を記録したドキュメンタリーです。

「映画の中で人間の情けなさを知りましょう。しかし同時に、人間の秘めている可能性を知りましょう。そして、自分の中にわき上がってくるエネルギーに気づき自分が今世の中に必要であることを感じられると思います。...死んでから天国に行ってもしょうがない。生きている今を天国にしましょう。天国をつくるのは神様ではなく生きている一人ひとりです。思うだけ、考えるだけ、語るだけ、祈るだけでなく、動くことです。『動けば変わる』僕は、日本から世界を本気で変えていきたい。監督の軌保博光あらためてんつくマンの言葉です。

「映画の中で人間の情けなさを知りましょう。しかし同時に、人間の秘めている可能性を知りましょう。そして、自分の中にわき上がってくるエネルギーに気づき自分が今世の中に必要であることを感じられると思います。...死んでから天国に行ってもしょうがない。生きている今を天国にしましょう。天国をつくるのは神様ではなく生きている一人ひとりです。思うだけ、考えるだけ、語るだけ、祈るだけでなく、動くことです。『動けば変わる』僕は、日本から世界を本気で変えていきたい。監督の軌保博光あらためてんつくマンの言葉です。

問い合わせ先は
電話080-5129-1759または
e-mail shiozo@pj9.so-net.ne.jpまで。

高校生から93才まで 読書会から自分を拓く

「今の若い世代の純愛と、自分たちの十代世代の異なるところはどこにあるのか、違いを知るために読み始めました」。南信州は学ぶことの盛んな地域といわれます。婦人会を母胎に発足した読書会もピーク時に400を数えました。冒頭は最高齢が93才、平均でも80才代の女性たちによる木曜読書会が「世界を中心に愛をさげふ」を取り上げた動機です。

図書館を中心として活動を進める飯伊婦人文庫。会員約200人のこのグループは、読書を通して仲間同士で学び育ちあう活動を進めています。

「私が深く残ったもの...『独創性など意味がない』というゲーテの主張でした。当時私は将来の進路に悩んでおり、半ば落ち込んでいました。その...原因が『独創性』...『個性』という問題でした。...今の社会がそれらを求めていると思ったからでした。ゲーテは先人や同時代人から影響を受けずにつくったものなどないといひます。社会においても『過去』という土台の上に『今』があると考えるのならば、『過去』を知ることは重要な意味を持っています。新しい価値を組み立てようとする今だからこそ、『古きもの』を省みる...それは精神的なものや人間的なものでしょう。飯伊婦人文庫が取り組んでいる高校生との読書会。ゲーテのファウストを呼んだ高校生、加藤さと美さんの感想です。

「まず本を読む、そして書き記す。書き記したことを皆に話す。読書会という協働の取り組みを通して、自分以外の人たちの考えを知る。自分も仲間も豊かになっていきます」。婦人文庫代表、吉田五十鈴さんの言葉です。

学んだことを力にする。読書会の活動は、女性たちによる、この地域の底力をつくる取り組みです。

「読書についての文集2006」。照会

は飯田中央図書館まで。

<http://library.city.iida.nagano.jp/>

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川)青森県 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp





地域ごとの個性的な取り組み 市役所内部監査、再開

「自治会役員会にもISO14001の取り組みを始めたことを報告しました。かつては農業など、自営業者が多かった役員も、今はサラリーマンOBが増えてきました。ISOということばにもなじみのある役員が増えていきました。地域の中に環境改善の取り組みを広げていくことが市役所の役割。そんな説明に多くの役員が共感してくれました」。

冒頭は市役所玉置支所長の発言です。8月17日(木)集中豪雨で延期となっていた飯田市役所ISO14001内部監査が再開されました。

「環境衛生組合の役員と話をしていると、廃プラスチックの分別が、容器包装リサイクル法が施行された頃よりも曖昧になっている。改めて地域ごとに徹底のための学習を進めることが必要ではないか」。地域と密着している支所ならではの外部コミュニケーション。



「里山を愛する会を組織して、間伐材の搬出伐採などに取り組んでいます。一昨年には支所に薪ストーブを設置。里山でとれた薪を使ってストーブで暖をとっています。灰は畑の肥料に使っています。里山保全と循環型地域づくりのモデルに取り組む竹内川路支所長の発言です。

支所をサイトに加えたことで、環境ISOの取り組みが地域への広がりが見えてきました。

相互内部監査、参加者募集中

集中豪雨で延期としていた部課等の内部監査を再開しました。日程は以下HPで公開しています。自組織の取り組みの参考に、内部監査のスキルアップの機会として。実施日まで間がありませんが、「相互内部監査員」「オブザーバ」としてぜひご参加ください。
<http://www.city.iida.nagano.jp/kankyoku/index.shtml>

読売新聞で紹介 自己適合宣言の取り組み

8月9日読売新聞の夕刊で、自治体の自己適合宣言の取り組みが紹介されました。以下は記事の抜粋です。

「環境管理の国際規格ISO14001(環境ISO)の認証を得た地方自治体が、認証を返上するケースが増えている。イメージアップや経費節減の効果はあるものの、財政難に悩む自治体には、外部の審査機関に支払う高額な審査費用がネックになっているためだ。

一方、職員や市民の目で環境への取り組みを独自評価する制度を採用入れるなど、『名より実を取る』動きも広がっている。

2000年9月に兵庫県内の自治体で初めて環境ISOの認証を取得した尼崎市。この9月、3年ごとの更新時期を迎えるが、手続きを見送ることを決めた。...このため、市は来年度から、環境ISOに準じた独自の評価制度を導入するという。...

ISO審査機関を認定している財団法人『日本適合性認定協会』によると、2004年7月に527あった認証自治体は、今年6月現在で441に減少した。外部審査をやめ、ISOの規定上も認められる『自己適合宣言』を採用する自治体もある。

すでに山形県新庄市や長野県飯田市、熊本県水俣市などが実施しており、市職員や地元企業、市民らが、環境ISOの規格に適合しているかどうかを審査している。こうした動きについて、同協会は『認証がビジネス面で有利に働く企業に比べ、自治体は環境負荷の低減という結果さえ出れば、費用のかかる認証継続にこだわる必要はないと考えるのでは』と分析する。

自治体として、国内初の自己適合宣言を行った飯田市。自己適合宣言がスパイラルダウンにつながらないような仕掛けづくりに飯田市に続く自治体も腐心しています。

一方、地域ぐるみ環境ISO研究会による新南信州 いむす 21 のめざす「南信州宣言」。自己適合宣言を広げるしくみです。南信州から自治体以外に自己適合宣言の広がりが期待されています。

生活記録と女性たち 地域をつくる学びの風土



「行き詰まっても、書いてみることで問題が整理できました。そしてどうしたら一歩進むことができるか、追求の気持ちが生まれます。生活記録に取り組むことで、確かな目を持つことができました」。昭和20年代、集団就職で紡績工場に就職したYさんは、生活記録運動に出会いました。



「洋裁師、良い花嫁になるための学習は、会社が用意してくれました。でもそれでは物足りない。自分の人生を自分で切りひらくことのできる人になる。そのための一歩は今の生活を見つめること。生活記録は、労働組合が私たちに与えてくれた学びの機会でした」。

7月31日に88才の生涯を終えた社会学者の鶴見和子さん。生活に根づいた地に足のついた学びとして生活記録を取り上げ、社会的に評価した人物です。「内発的発展論」では、社会変革の新しい方法を問題提起。



「恵まれた家庭に育った鶴見さん。けれどもいつも私たちに近づこうという姿勢をもってくれました。会社の操業短縮で、一時実家へ戻った私たちの職場復帰を、会社と掛け合ってくれました。広大なご自宅に泊めていただいたことも思い出です。鶴見さんの書いた「生活記録運動の中で」にも登場するSさんの発言です。



「結婚を機に田舎に戻ってきました。工場でもに学んだ仲間とは、今もつながっています」。「田舎に戻ってからは、生活記録の運動を続けることはできませんでしたが、若妻会や婦人会、読書会、子どもの本の読み聞かせ、子ども劇場運動など、常に何らかの地域の活動に関わってきました」。

北海道大学宮崎ゼミの皆さんと生活記録の聞き取りに参加。自分から表には出ないけれども、地道な学びを続けた女性たち。地域の風土をつくってくれた人たちの存在を知りました。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川印刷機株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



ABNの取材を受けました 市役所の相互内部監査

「外部から参加したメンバーが厳しく指摘する。そしてシステムの一層の向上に結びつける。相互内部監査で参加する私たちのつとめです」。

8月24日(木)飯田市役所庶務課長の相互内部監査に、ABN 長野朝日放送が取材に訪れました。



冒頭は、相互内部監査に参加した研究会メンバー、アースグリーンマネジメント代田勇さんの発言です。

自治体EMSの取り組みが、国際規格、ISO14001の第三者の認証を受ける動きに変化が見られます。県内箕輪町では自治体としては初めてエコアクション21を取得。上田市は飯田市と同様、自己適合宣言に踏み切りました。地球温暖化防止と、自治体を中心としたEMSをめぐる最近の動きについて、特集を組むための取材です。

「外部審査に代わる方法で、組織の取り組みを外に伝える。そのことを通して信用を担保する。そういうしくみづくりは大変です。真摯に自己宣言をとらえると、外部審査よりハードルは高いかもしれません」。自己宣言以来毎年相互内部監査に参加している代田さん。「取り組みの内容も年を追うごとに進化が見られます」。

地球環境問題は一層深刻に。ローカルアジェンダを進める要は地方自治体。率先垂範の立場で何らかのEMSに取り組むことは不可欠です。地方自治体にとどまらず、あらゆる組織にEMSを広げていく仕掛けやしきみも必要です。

取材の結果は、9月13日(水)夕方6時17分から放映される「ABNニュースステーション」の中で放映される予定です。

EMSのこれからについて、改めて考える転機が訪れているといえそうです。

地域経済の自立と 南信州 いむす 21

中国地方から視察

「...環境文化都市づくりが全国的に評価を受けている要因の一つとして、市民・事業者・行政の取り組みがあげられます。『地域ぐるみ環境ISO研究会』は...地域内事業者が、行政市民と連携しながら地域の環境改善活動に取り組んでいます...特筆すべきは、地域の政策課題の解決に向けて、『地域ぐるみで取り組む』という意識を地域に浸透したことにあります。豊かなライフスタイルを提供できる経済的にも自立した『文化経済自立都市』は、環境文化都市づくりで培った『地域ぐるみの精神』がカギを握っています...」。今年5月に牧野飯田市長が発表した「地域経済自立への挑戦」からの引用です。

8月24日(木)財団法人ちゅうごく産業創造センターの一行15人が、視察に訪れました。「中国地方における競争力ある自立した経済圏の形成と、人口減社会においても、持続可能な生活圏の形成に関する調査」。広島大学戸田常一教授が委員長です。



地域経済構造分析のモデルとなった、「飯田・下伊那経済自立化研究会」と、「文化経済自立に向けた飯田市の取り組み」にあわせて、「南信州 いむす 21」の取り組みが調査です。

地域独自のEMS「南信州 いむす 21」には、地域ぐるみの環境改善の取り組みをひろげる目的もあります。「シンク・グローバル、アクト、ローカル」。地球規模の環境問題を南信州の地から、自分たちの発意と力で変えていく。研究会の活動や南信州 いむす 21に、誇りをもって取り組んでいく意義を改めて実感。個性をもった取り組みを自らの力で起こしていくこと。「何をするか」以上に「誰が取り組むか」。そして、「自らが必要なことを起こしていくこと」。これからの地方都市のあり方を考える、大事な視点ではないでしょうか。

幼保育園児も参加しました 打ち水大作戦

34度から32.1度へ、地表面の気温が下がりました。「打ち水大作戦おひさまプロジェクト」が、キラヤ県店駐車場で行われました。明星保育園や県幼稚園の子どもたち60人や同店職員、NPO法人グリーンクラブスタッフなどが参加。おひさま進歩のキャラクター「さんぼちゃん」といっしょにプールの水や、松川の水約300ℓを一斉にまきました。



打ち水大作戦は、NPO法人日本水フォーラムなどの呼びかけで、広く全国で行われるようになりました。2003年夏、ヒートアイランド現象による夏の電力不足に悩む都市部で実施したことがはじまり。今春メキシコで行われた「世界水フォーラム」でも取り組みを紹介。日本発の運動が、世界に広がりつつあります。

今年は「全国一斉打ち水開幕」が7月23日(日)大暑。8月23日(水)処暑のこの日「全国一斉打ち水閉幕」にあわせて行われました。1㎡に1ℓの水をまくことで、約2度気温を下げることが現れると試算されています。打ち水には雨水や川の水などの二次利用水を使います。

研究会に参加する中部電力飯田営業所や、県連合自治会、飯田市役所本庁舎などでも行われました。

残暑厳しい今年、まだまだ暑い日々は続きそうです。家庭や職場でも取り組みながら、地球温暖化防止を考える機会にしてみませんか。

打ち水大作戦の詳細は以下HPを参照ください。

www.uchimizu.jp

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川青森株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



南信州いむす21 一層の改善に向けて 実務担当者会が行われる

南信州いむす21改正後、新システムでは初めての審査が行われました。審査は、研究会事業所から推薦された審査員30人が13チームに分かれて実施。審査の結果、初級21、中級3事業所の取り組みを適合と認め、南信州広域連合に報告。8月11日に行われた南信州広域連合の判定会議をへて、31日に登録証の交付が行われます。



8月25日(金)、市役所りんご庁舎で地域ぐるみ環境ISO研究会実務担当者会行われました。担当者会では審査を通して感じた、南信州いむす21の新システムの課題について、意見が交換されました。

環境側面の抽出から 目的目標まで アドバイスや説明機会を

EMSの核心ともいえるPlanにあたる、環境側面の抽出・評価から、目的目標の設定に至る手順について、多くの事業所で、十分理解されていないのではないかという意見が出されました。国際規格のISO14001では、環境側面という表現だけでなく、新たに作られた日本語の語彙がいくつも登場します。ことばの意味づけやEMSの基本的なしくみについて、個別事業所へのアドバイス、あるいは全体説明会なども必要という発言もありました。

「紙ゴミ電気の取り組みから、本来業務への取り組みに広がっていない。」「同じ初級の取り組みでも、取り組み内容に大きな開きがある」。事業所の取り組み内容についても、課題が指摘されました。

システム改善にむけた フォローのしくみを

「審査で課題とされた点を事業所に指摘したり、指摘事項が改善され

ているかフォローするしくみが無い。」「チェックリストの要求事項をどこまで満たしていれば適合とするか、基準があいまいだ。」「チェックリストの使い方が審査者によってまちまち。標準的な使い方を決めておくことも必要では。新南信州いむす21のしくみや審査の方法について、課題が指摘されました。

南信州いむす21の これから PJメンバーを中心に

審査対象となった事業所からも、「自社の取り組みがどの程度の水準にあるか、またこれからの取り組みの参考にするために、他の事業所の取り組みを知りたい」という希望が複数寄せられました。

新システムが動き始めて最初の審査の山を越えました。更新審査の事業所が集中したことで、ほとんどの実務者が審査に関わることができました。現場審査をふまえての意見交換は、説得力があります。また異業種でチームを組んで審査に参加したことで、研究会メンバーとしての仲間意識も高まりました。新南信州いむす21を自分たちが作り上げていく主体であるという意識も高まっています。

研究会では担当者会での発言を受けて、新システム構築に関わったプロジェクトメンバーを中心に、新システムの課題整理を行います。

検討会への参加を希望される担当者の皆さんは、事務局まで申し出てください。

(株)タカモリから 中塚さんが初参加

今回の実務担当者会から、研究会に新たに加入した(株)タカモリの取締役部長、中塚尚さんも参加。「昨年3月に南信州いむす21に登録。ISO14001の認証取得を目指して、研究会で学びたい」と、決意表明をいただきました。



環境法令の拾い方

「いわゆる~Shall(ねばならない)の法令を中心に調査把握している」(木下建設)。「外部審査での指摘を受けて



加筆修正を行っている」(飯田商工会議所、夏目光学)。「実務担当者が集約管理している」(盟和産業)「社員で作ったチームによって一覧表を作成管理している」(原鉄)。「系列会社共通で、法専門の担当者が把握している」(飯田TDK)「今年から各課単位の拾い出しとすることで現場の自覚を期待した。ガイドラインをつくったり、研修機会を設けるなどのフォローアップが課題」(飯田市)。

法的およびその他の要求事項の特定は、重要ですが、どこの組織でも課題とされています。今回の担当者会では、環境法規制の把握方法について、各事業所の悩みや実際を交流しました。

経営に役立つ内部監査 研修会を10月に実施

南信州いむす21の審査能力の向上や、自社のEMSの運用に役立てるために、外部講師を招いた研修会を行います。期日は10月を予定。テーマは「経営に役立つ内部監査」。南信州登録審査料を財源として活用します。

エコドライブ推進月間 10月に再び実施

5月に続き、10月にエコドライブ推進月間を行います。今回はエコドライブの取り組みが、家族に広げられることをねらいます。

生活と環境まつり 里山作業も行います

生活と環境まつり。今年は10月28日(土)、29日(日)鼎文化センターで行われます。

研究会は今年も、間伐材や木の実を使い、クラフト細工づくりを中心としたブースを運営する予定です。

また、クラフト細工に使用する、間伐材の切り出し作業を10月14日(土)午前中に行います。日頃経験することのできない貴重な機会です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

なお、9月6日(水)午前10時から、飯田市公民館を会場に、事業所代表者会を行います。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川印刷機株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp



新南信州いむす21 24 事業所に登録証を交付

「かねてから、地域社会の環境改善のために、会社として何か取り組みたいと考えていました。そんなとき南信州いむす21の存在を知りました。山国飯田は、豊富な水資源をもっています。川を守り、水を守る、そして私たちの生活を守る。そのために会社としても南信州いむす21に取り組みこととしました。現在の初級から、グレードをあげて、中級上級へとチャレンジしていきたいと思えます。」



8月31日(木)飯田環境センター「竜水園」を会場に、南信州いむす21登録証の交付式が行われました。冒頭は新システムとなって初めての新規登録事業所、(有)龍光電気工業代表取締役、久保田和彦さんの発言。登録を受けた事業所を代表してのあいさつです。

南信州いむす21は今年4月に規格を大幅に改正。改正後初めての登録証の交付式となりました。2003年に登録し、更新審査となった事業所が23。あわせて24の事業所に登録証が交付されました。

南信州いむす21で 地域の牽引役に 牧野連合長からもエール

「環境問題は特定の個人や組織だけががんばっても解決しません。事業所の取り組みを『点』とすると、地域や家庭に広がって『面』の取り組みとなる必要があります。今回登録証を受けられたことをきっかけに、これからも一層、地域ぐるみの環境改善活動の牽引役として活躍いただくことを期待しています。」
牧野光朗南信州広域連合長のあいさつです。



内訳は、中級が3、初級が21。更新の機会と前後してISO14001を5事業所が認証取得し、南信州いむす21から「卒業」しました。

2001年10月、地域独自のEMS「南信州いむす21」が誕生してから今日までに、国際規格のISO14001へ9事業所が「卒業」。取り組みの「高まり」につながっています。

ISO14001 南信州宣言 取り組み宣言も

登録証の交付を受けた事業所は以下の通りです。



飯田精密株、(株)丸宝計器、テー・エス・エレクトロニクス(有)。以上中級で更新登録。(株)タニガワ、(有)愛光電子、(株)エヌ・イー、(有)大蔵製作所、(有)大島電子、(株)協電社、(株)三和精機 (有)トーキュー精機 (有)ナガノ京信、(有)野中製作所、林精機製作所、(有)森脇精機 (有)アイエス精工、(株)ヨシカズ、田中精機株、(有)浜島精機 (有)三笠エンジニアリング、(株)ミナミ、アザレーミックス株、信南サービス株。以上初級で更新登録。(有)龍光電気工業、初級で新規登録。

06年8月31日現在、登録事業所(または組織)は51となりました。内訳は初級48、中級3。また、取り組み宣言事業所5。内訳は初級4、ISO14001南信州宣言1事業所です。

相互内部監査に参加しました 長野市役所内部監査

8月28日(月)、29日(火)長野市役所ISO14001内部監査に参加しました。参加者は飯田市役所から小林、小野寺、木下3名です。飯田市ではこれまでも、所沢市、上田市、多治見市、新城市、高遠町などの自治体の内部監査に参加しています。



今回は事務局監査の他に、都市整備部、生活部、東部浄化センター、長沼公民館の運用現場の監査にも参加しました。事務局監査には信州大学も相互内部監査員として参加。

長野市は県内最大の自治体。ISO14001も、浄化センターなど環境負荷の大きなサイトも含めた汎用性をもったしくみです。

相互内部監査の輪を広げ、緊張感を持った監査を行い、組織同士、良いところを学びながらスパイラルアップを図る。自治体に限らず、相互内部監査の広がりが期待されます。

上郷環境衛生組合主催 古着のリサイクルに 参加しませんか

上郷環境衛生組合主催、古着のリサイクルが今年も行われます。2003年1月、上郷地域づくりフォーラムで行われた「環境分科会」。「古着を第3世界へ送る取り組みがあります」。分科会助言者の発言がきっかけではじまりました。今回で5回目です。



9月10日(日)午前6時30分～9時まで。会場はジャスコ飯田店前駐車場です。

衣料(ベビー服から大人の衣料まで、但し下着を綿のシャツのみ)、バスタオル、シーツ、カーテン、毛布などを集めます。

プラ資源袋に入れて持参します。1袋あたり200円の有料回収です。費用は会場で支払います。

水に濡れたり汚れ傷みのあるもの、ふとんやまくら、じゅうたん、履き物、ベルトなどは対象外です。

「もったいない」精神で、皆さんも参加しませんか。詳しくは上郷環境衛生組合事務局まで。(市役所上郷支所内、電話22-2540)

総合学習でEMSを学ぶ 高陵中学校の生徒たち

9月4日(月)高陵中学校の生徒10人が飯田市役所を訪れました。



ISO14001の取り組みを学ぶことが目的です。同校ではこの日をチャレンジデーと名付け、環境や福祉など、生徒の興味関心のある分野に分かれて市内各施設を訪れました。同日午後は東日本システム建設(株)、5日は(有)雨宮印刷と、研究会参加事業所にも訪問。学習の成果が期待されます。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
p05300@tamagawa-seiki.co.jp
木下巨一(飯田市役所) 研究会事務局
ic1267@city.iida.nagano.jp